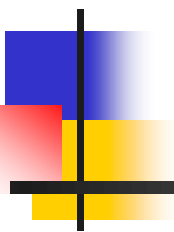
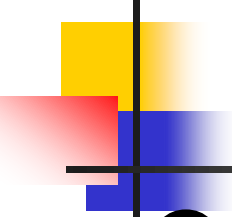


社会系(地理歴史) 教科指導法



第9-10講 授業を開発する

—事象を分析する授業, 解釈を構築する授業—



●授業日は当初から変更なし

第13-14講を圧縮し，1コマで実施します

●個人の取組課題の締切も変更なし

・以下，いずれかの授業（指導案）1時間分を開発する（50点）

提出期限は，7月27日（金）Bb9経由で提出する。優秀作品は発表してもらう。

- ①「ナチズムの台頭」を，主体的，対話的で深い学びの視点から作り直す
- ②「メキシコの借金」を，現代的な情勢や最新の理論を加味して作り直す
- ③「シリーズ日本近現代史1-10（岩波）」を，講義で学んだ視点や方法を用いて授業化する
- ④「貧困大国アメリカ1,2（岩波）」を，講義で学んだ視点や方法を用いて授業化する

・3分でわかる社会科授業10の理論シリーズに関する作品を開発する（15点）

提出期限は，8月3日（金）Bb9経由で提出する。

- ① 私の一押し理論を紹介したパンフレット
- ② 10の理論の関係を説明した見取り図・鳥瞰図
- ③ 紹介されている論文・書籍1本の要旨をまとめたポンチ絵・構造図



演習課題1

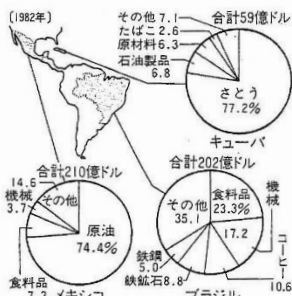
- ラテンアメリカの産業(特色)

教科書を教える授業＝徹底的に教科書を教えよう
教科書から知識と問いの構造を再現する

- (1) この見開きで教えたいことは→MQ
- (2) 1つのリード, 2つの小見出しで教えたいことは→SQ
- (3) 3つの相互関係は→授業の流れ
- (4) 周囲の図版を全部使うならばどこか
関係ある本文箇所と線で結ぼう→SSQ
- (5) 不足する図版を資料集等で補おう



ブラジルのコーヒー園



中・南アメリカ3国の輸出品
(通商白書昭和60年版ほか)

3 特定の産物にたよる国々

この地域の国々の経済がなによって成り立っているか、その産業や貿易の特色と問題を考えてよう。

大きな農園

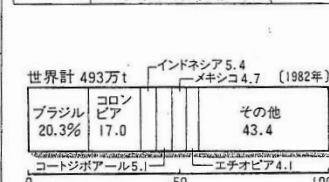
あるアメリカ合衆国資本の果物会社は、バナナ園を中心とする25万haの農園を、中央アメリカで経営している。10万人の労働者をやとい、3000kmの専用鉄道と65の輸送船を持っている。ホンジュラスには、この会社の農園の約30%があり、国の農産物の半分近くがそこで生産され、ほとんどアメリカに輸出されている。国の経済は、一つの会社の生産量や販売政策に大きく影響されている。

単一生産に たよる国

中・南アメリカの国々の多くは、わずかな種類の特産物だけを生産して輸出し、その収入によって、工業製品から食料まで必要なものを輸入している。中央アメリカ諸国やコロンビアではバナナとコーヒー、カリブ海諸国ではキューバのさとうなど、農産物が輸出の中心になっている。また、ベネズエラの石油、チリの銅、ボリビアのすず



中・南アメリカの農・鉱業地域
(グーズ世界地図1982)



コーヒーのおもな産出国(世界統計年鑑1982)

など鉱産物がおもな輸出品の国もある。広いパンパを持つアルゼンチンは、小麦や牛肉などの食料を輸出している。

単一生産にたよる国々は、輸出品のねだんの変動による収入の差が大きい。また、アメリカの企業が鉱山や農園を所有したり、その流通を支配している場合、利益が国外に流れることが多い。鉱石や原油も、工業化がおくれているため、加工しないで輸出することが多い。

工業化と 多角化

この単一生産による不利益を解決するために多くの国々が、農業の多角化や工業化を進めている。例えばブラジルでは、コーヒー園で綿花やカカオをあわせて栽培したり、小麦やだいに転換したりしている。外国から資金を借り入れて、鉄鋼や自動車などの工場をつくったりもしている。また、未利用の資源や農地を開発するために、アマゾン川流域などの道路建設にも取り組んでいる。しかし、インフレがはげしく、資金の返済ができなくなっている国も多い。

見開きの主題

MQ

小見出しの内容とその関係

SQ1

SQ2

SQ3

SSQ1

教材1

SSQ2

教材2

SSQ3

教材3

SSQ4

教材4

SSQ1

教材1

SSQ2

教材2

SSQ3

教材3

SSQ4

教材4

SSQ1

教材1

SSQ2

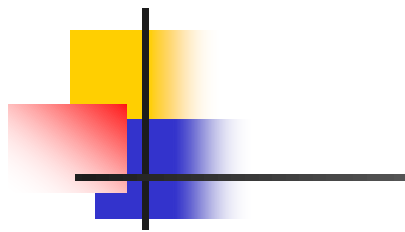
教材2

SSQ3

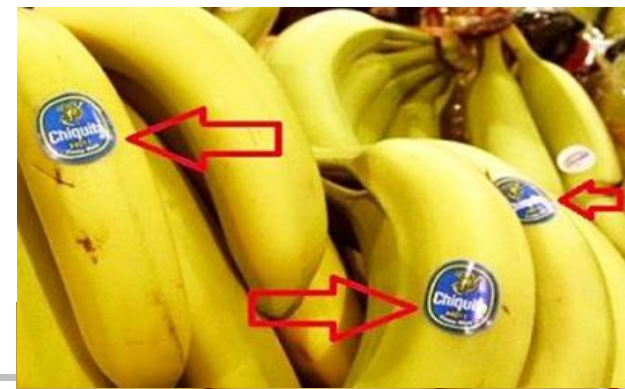
教材3

SSQ4

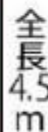
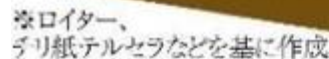
教材4



デルモンテのバナナ



69日ぶり家族抱きしめ

MSN産経ニュース <http://sankei.jp.msn.com>



演習課題2

- 青本典子実践「メキシコの借金」
- 加藤公明実践「石山合戦」

教科書で教える授業＝教材研究の過程を比較しよう

- (1) 2つの授業について知ろう
- (2) 6枚のカードを，授業づくりでの考慮事項の優先度に沿って順番に並べ替えよう
- (3) カードの横に，そのような配列になる理由を書き込もう
- (4) 1枚はワイルドカード，独自の観点を設定



演習課題2

- 青本典子実践「メキシコの借金」
- 加藤公明実践「石山合戦」

メキシコ	石山	(班分担)
1	2	
3	4	
5	6	
7	8	
9	10	
11	12	
13	14	15

**子どもの見方を
予想する**

**専門家の見方を
調査する**

**教科書を読んで
扱いたい主題を選ぶ**

**資料・データを集め、
使い方を決める**

**学習課題(MQ)と
目標を定める**

私たちが考える
この授業ならではの
準備とは

A3の白紙を縦方向に
2枚つなぎましょう



導入

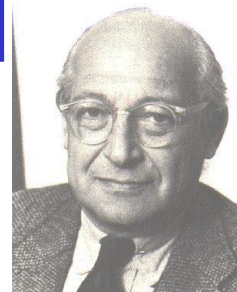
展開Ⅰ

展開Ⅱ

終結

◎ なぜラテンアメリカには、
借金の多い国が多いのか？

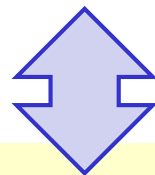
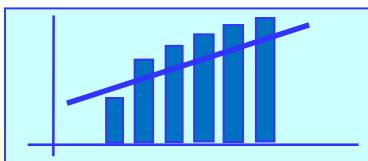
事実の提示



W・W・ロストウ
『経済成長の諸段階』

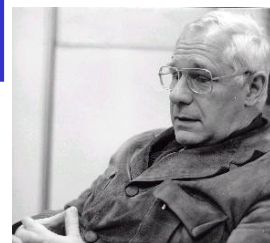
MQ
の
探
求
過
程

○ Q1の探求...**近代化論**の視点
(なぜメキシコは借金をしたのか？)



Qと視点の移行

○ Q2の探求...**従属理論**の視点
(なぜ自動車を作れば作るほど借金も増えるのか？)



A・G・フランク
『従属的蓄積と低開発』

○ 他に応用・吟味



本日の概念5

(科学的)探求...分析する授業

社会の改良には、社会の仕組みに関する知識の正しさと誤りを受け入れる謙虚さが必要。教室は、データの分析を通して自分の誤解を正し、真理を探求し、自己を解放していく場とするべき

- (1) 拙いながらも仮説aを立て、事実に照らして吟味する
- (2) 事実を説明できない仮説a＝誤りは、排除する
- (3) 事実を説明しうる仮説Aに作りなおす





本日の概念5

(社会的)議論...構築する授業

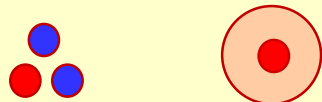
社会は人々の対話できている。教室は、社会と同じように、一人ひとりが主張を交わし、根拠やデータを確認め、私たちが折り合うことのできる合意を構成していく場とするべき

- (1) D (データ) 客観的な証拠資料【データ】
- (2) W(ワラント) 主張の裏付け, なぜそういえるか【論拠】
- (3) C (クレーム) DWを拠り所にした言説【主張】

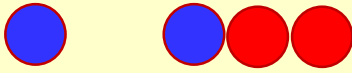


社会認識の成長とは



- 沖縄の産業 
...abcを比べると, cかつC
(選択的成長=絞り込みの支援)



- 政治とは何か 
...Aだけでなく, B&Cも
(累積的成長=足し算の支援)



- 律令国家・唐 
...Aではなくて, B&Cこそ
(変革的成長=ひっくり返しの支援)



- 酸性雨の背景 
...Aだけれど, B or Cも考慮
(体系的成長=序列化の支援)